

幸野川取入口ヨリ水槽マテ	一二二	一五〇	一八五	一、七〇〇
北里川取入口ヨリ水槽マテ	三三	四〇	五〇	一、〇〇〇
合 計				三、七〇〇

杖立川ノ小支流湯田川ヲ利用セント欲スレハ獨立ニ發電所ヲ作ルヨリモ隧道ニ依リテ其ノ水ヲ志賀瀬川ニ導キ本地點ニ利用スルヲ得策トスヘシ。尙本地點杖立川取入口ノ上流ニ犬瀧アリ之ハ別個ノ發電所ヲ設クル外ナカルヘシ

順位一、二〇六 北里川合流點ノ直下ニ取入レ杖立溫泉ノ上ニ放水スヘシ水路ハ左岸ニ取り大部分隧道トスヘシ
 順位一、二〇七 元調査局地點一、五二二及一、五二八ヲ合セタルモノナリ杖立川ハ杖立溫泉ノ下ヨリ左岸ニ取入レ津江川ハ下鶴ヨリ右岸ニ取入レ共ニ隧道ニ依リテ合流點ニ於ケル水槽ニ導水ス河川別水量左ノ如シ

種 別	杖 立 川	津 江 川	合 計
濁水量	二二六	九一	三一七
低水量	二八〇	一五二	四三二
平水量	三四五	二三六	五八一

順位一、二〇八 杖立川、津江川ノ合流點ヨリ左岸ニ取入

レ柚木ニ放水ス。水路ハ隧道開渠相半スヘシ
 順位一、二〇九 元調査局地點一、五二八ノ上半ヲ合ムモノニシテ川原川合流點ヨリ取入レ下鶴ニ放水ス水路ハ右岸ヲトリ大部分隧道トスヘシ

第三十四章 川上川水系

一、流域

(一)地形 川上川水系ノ流域ハ佐賀縣ノ中部ヲ占メ小城、神埼、佐賀ノ三郡ニ跨リ形狀複雑ナレト稍長方形ニ近ク東西四里南北七里ニ亘リ面積二五方里アリ
 流域ハ脊振山塊ノ西南部ヲ占ム。該山塊ノ主脈ハ獵師岩山、金山、雷山、羽金山等高サ三、〇〇〇尺内外ノ急峻ナル山岳トナリ福岡、佐賀兩縣界ニ沿ヒ東西ニ連リテ流域ノ北邊ヲ限リ金立山、金敷城山、彦岳、天山等高サ一、五〇〇尺乃至三、五〇〇尺ノ稍急峻ナル山岳ハ其ノ南方ヲ東西ニ連リ脊振山塊ノ南邊ヲ作シ此ノ兩山脈ノ間ニハ連嶺ト稱スヘキモノナク低山丘陵起伏ス。其ノ内ニアリテモ中部即チ川上川本流兩岸ヨリ西部ニハ龜岳、白石山、權現山等稍著シク其ノ他一帶丘陵溪谷入り亂レ小起伏多ク地形錯雜シ西方五

島川、嚴木川トノ流域界ニハ明ナル連續ナク主ナル山岳ハ高サ一〇〇〇尺乃至二、五〇〇尺アリ川上川岸ニ至リテ比較的急傾斜ヲナシ川ニ臨メリ

流域ノ東部殊ニ北東部一帯ニ於テハ丘陵起伏スレト著シク緩慢ニシテ地形稍開濶ナリ脊振山塊ニ屬スル部分ニアリテハ平地ハ本流中流部河畔ニ少許アルニ過キス脊振山塊ノ南側ニ連レル金山、敷城山、彦岳、天山等ノ南側ハ稍急勾配ヲナシテ下リ筑紫平野ニ臨メリ

(二)地質 本流域ノ山岳部ハ主トシテ花崗岩ヨリ成レトモ彦岳天山附近ニハ閃綠岩及蛇紋岩アリ又山岳部ノ南邊ニ少許ノ古生層アリ而シテ筑紫平野ハ沖積層ヨリ成レリ

(三)林野狀態 本流域内ノ林野狀態ハ地形ニ從ヒ自ラニノ區域トナレリ其ノ一ハ下流一帯ノ筑紫平野ニシテ水田連リ其ノ二ハ中流以上ナル筑紫平野ヲ除ク一帯ノ山岳丘陵起伏スル所ナリ此ノ部分ニ於テハ平地少ケレト河畔溪谷及山腹ノ斜面等耕サレ田ハ全面積ノ約一割ニ當リ畑ハ之ヨリ稍少ク其ノ他ハ主トシテ山林及原野トナレリ。其ノ内脊振山塊ナル雷山附近及中流部ナル彦山、金山附近一帯ハ國有林ニシテ前者ハ潤葉樹林後者ハ針葉樹林及混生林ナリ

是等ヲ除ク外ハ主トシテ民有ニ屬シ無立木地略半ヲ占メ外ニ潤葉樹林、混生林、竹林アレト何レモ狀況良好ナラス只杉ノ植林ハ所々ニ在リテ狀況良好ナリ

(四)氣象 山間部寒ク海岸部暖ク平均氣溫一四度ヨリ一六度ノ間ニ在リ。雨量ハ山間部多ク年雨量二四〇〇耗餘下流平野少ク一七〇〇耗餘降雨日數ハ上下流ヲ通シ一四〇日乃至一五〇日ナリ

二、河川ノ狀況

(一)概説 川上川ハ脊振山塊南斜面中部ノ水ヲ集メテ流レ有明灣ニ注ク筑紫平野ニ出テテヨリハ二分シテ多布施川ト嘉瀬川トナリ川上川ノ名ヲ存セス

(二)河況

川上川本流 脊振山塊金山ノ南西一帯ナル緩慢ナル丘陵起伏スル所ニ發シ三瀬村落合ニ於テ支流ヲ合セ稍大ヲナシ西流シテ藤瀬ニ至リ古場ヨリ來ル小支流ヲ合セ南轉シ上無津呂ヨリ來ル中原川ヲ合セ更ニ山岳丘陵ノ間ヲ四度曲折シテ遂ニ筑紫平野ニ出ツ

最上流部三瀬村内ニ於テハ兩岸低夷ナル丘陵連リ河床タ小ニ河畔開ケ河床河岸土砂ヨリ成リ勾配緩ナリ。藤瀬ヨリ下筑紫平野ニ出ル迄ノ間ハ兩岸稍急峻ナル山連レト

中原川 雷山附近ニ起リ南流シテ本流ニ合スル小支流ナリ。北川村馬場附近以下ハ河幅一〇間内外河床河岸砂礫轉石ヨリ成リ勾配一〇〇分ノ一許ナリ

(三)流量

一年中ニ於ケル流量變化ノ狀況ハ一般河川ト同様ニシテ冬季概シテ少ク三月頃ヨリ次第ニ増加シ五月中旬ヨリ六月ニ亘リテ減少シ梅雨ニ入レハ急ニ増加シ六、七、八月ハ概シテ流量多ク秋期ニ入り次第ニ減少ス月平均流量ノ最小ハ冬季ニ起レトモ一年間ノ最小ハ年ニ依リ五、六月ニ起ルコトト冬季ニ起ルコトトアリ月平均流量ノ最大及一年間ノ最大流量ハ六、七、八月ノ間ニ起ル

川上川水系流量表 (本省調査)

順位	舊順位	河川	測水所	流域面積	流量					流域一万里當流量					
					年次	最大	平水	低水	洪水	最小	最大	平水	低水	洪水	最小
三三五	八五〇	川上川	佐賀縣小城郡南山村 畑瀬畑山村	八・三	大正八年 二六五〇	大正九年 二二九〇	大正十年 二四八〇	大正十一年 二二五〇	平均 二一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇

河畔ニ少許ノ平地アリ水田等トナリ河岸河床主トシテ花崗岩盤ヨリ成リ砂礫轉石散在スルコト多シ藤瀬ヨリ中原川合流點迄ハ河幅一〇間内外勾配五〇分ノ一許中原川合流シテ河川大ヲナシ之ヨリ古湯附近迄ハ河幅一〇間乃至二〇間勾配八〇分ノ一古湯ノ下ニ於テ河カ東轉シテヨリ河幅上下大差ナク之ヨリ一〇町許ハ河床河岸岩盤突起多ク勾配二〇ノ一ニ近ケレト次第ニ緩トナリ六〇分ノ一許トナリ南山村中原ニ於テ東折シテヨリハ遙ニ緩トナリ遂ニ筑紫平野ニ出ツ

筑紫平野ニ出テヨリ平野ノ間ヲ緩流シテ二分シテ多

瀬川ト嘉瀬川トナル

三、水利及治水

(一)概説 治水事業トシテハ格別ノモノ無シ。嘉瀬川ニ

ハ大正五年十月十二日河川法準用認可サレタリ水利事業ハ發電水カヲ主トシ既設發電所多ク用水之ニ亞キ漁業モ多少アリ流材ハ全クナシ

(二) 用水 下流筑紫平野内ニハ用水多シ流域内山間部ニ水田一、三〇〇町歩餘アリ之ニ灌漑スル用水ハ多ク上流部並支流等ヨリ取入レ本流中流部ニハ南山村古湯及内野ニ於テ取入ルルモノ等ノ外著シキモノナシ

(三) 漁業 鯉、鮒、鮎ヲ主トシ下流部ニ多シ。川上附近ニ於テハ夏期梁ヲ設ケテ鮎ヲ漁獲スルアリ然レトモ其ノ産額多カラス一年間角類産額凡ソ六、〇〇〇圓ナリ

四、水力地點 本水系ニ於テ上流北山村藤瀬ヨリ南山村中原迄ハ勾配急ナレハ之ヲ利用スヘシ而シテ是等ノ部分ハ凡テ許可トナリ發電所ノ工成リシヲ以テ外ニ利用スヘキ餘地ナシ

川上川水系許可地點一覽表

種別	千馬力—壹千馬力		壹馬力—萬馬力		一萬馬力以上		合計
	地點數	馬力數	地點數	馬力數	地點數	馬力數	
發電開始	二	四五二六	一	一	一	二一六五	三
未開始	二	三三四五	一	一	一	二一六五	二
合計	四	七八六一	一	一	一	二一六五	五
							一九五二
							三三四五
							一六二二
							一九五二

第三十五章 松浦川水系

一 流域

(一) 地形 松浦川水系ノ流域ハ佐賀縣ノ西部ニ位シ東松浦、西松浦杵島ノ三郡ニ跨リ其ノ形三角形ニ近ク東西六里南北八里ニ亘リ面積三六方里アリ

流域ノ東部ハ脊振山塊ニ屬スル山岳連亘シ中部以西ニハ所々火山岩ノ山岳アル外三紀層ノ丘陵起伏ス而シテ殿木川以東ノ地ハ脊振山塊ニ屬シ作禮山三方山ノ外著シキ山岳ナク小起伏多キ丘陵ト溪谷ト入り亂レ地形極メテ錯雜ス。是等ノ丘陵ノ頂ハ二、〇〇〇尺内外ノ高サヲ有シ斯ノ如キ地形ハ流域ノ東北方ニ延展セルヲ以テ川上川、玉島川兩水系トノ間ニ著シキ分水嶺ナク西南方ニ殿木川河岸ニ及ヘリ

脊振山塊ノ西南ニ當リ瀬戸木場山、八幡山、徳連山アリテ流域ノ東南ヲ限リ又青螺山、黒髮山等ハ有田町ノ北ニアリテ流域ノ西方ヲ限レリ是等ハ凡テ火山岩ヨリ成リ高サ一、〇〇〇尺乃至二、〇〇〇尺急峻ナレト矮小ナリ是等ノ山岳ヲ除キ流域内一帶ニハ第三紀層ノ丘陵連亘ス其ノ高サ數